

2018年3月4日
主催 内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター

BEATLESS×官民連携サイバーセキュリティ月間イベント

「アナログハックを目撃せよ！2018」開催

TVアニメ『BEATLESS』レイシア役 声優・東山奈央さん
遠藤ユカ役 声優・小野早稀さんが登場！

内閣サイバーセキュリティセンター(NISC)は、KADOKAWA、BEATLESS 製作委員会と協力し、「アナログハック」を一つのテーマとした作品『BEATLESS』とタイアップを行い、2018年3月4日(日)に、サイバーセキュリティ月間(2月1日～3月18日)における普及啓発イベント「アナログハックを目撃せよ！2018」を開催しました。

今年は、「サイバーセキュリティ月間」の趣旨をより多くの方々に周知してもらうとともに、サイバーセキュリティの大切さについて呼びかけようと、サイバーセキュリティでしばしば取り上げられる、ソーシャルエンジニアリングに近い「アナログハック」をひとつのテーマとした作品の『BEATLESS』とタイアップを行いました。イベントは、TVアニメ『BEATLESS』レイシア役の声優・東山奈央さんや遠藤ユカ役の声優・小野早稀さんをゲストに迎え行われ、2,031名の方がイベントに参加されました。



レイシアの声優を務める東山奈央さんがスペシャルゲストで登場！

オープニングプログラムの冒頭では、主催者代表の内閣サイバーセキュリティセンター副センター長・内閣審議官 三角育生が登壇し、サイバーセキュリティの重要性について「サイバーセキュリティというと身近なことに思わない方もいらっしゃるかもしれませんが、ポケットの中にスマートフォンやゲーム機が入っている今の状況の中では、絶対に無視することの出来ないものです。特に今後、AI が家庭の中にも普及していくようになってどうなっていくのか。そこで今回は、未来をテーマとした『BEATLESS』とコラボレーションして、サイバーセキュリティについて「全員参加！」で考えて、皆で力を合わせて取り組んでいこうという趣旨でこのイベントを開催いたしました。」とイベント参加者へ呼びかけました。

続いて、今回コラボレーションした『BEATLESS』の紹介が行われると、「オーナー、メタマテリアルの屈曲率を変更します！」の声とともに、会場後方に『BEATLESS』のレイシアが登場。「サイバー攻撃が怖いのですか？その恐れは、乗り越えなくて良いのですか？今戦わずに、いつ戦うのですか？」のセリフとともにゆっくりと前方ステージに歩を進め、ステージへ上がると、「アナログハックを目撃せよ！ 2018 開幕」の声で、スペシャルステージがスタート。

ステージには、レイシアの声優を務める東山奈央さんが、レイシアのコスプレイヤーと入れ違いに登場。「『BEATLESS』の出演はオーディションで決まりました。世界観もですが、hIE という人間型ロボットの女の子なので、やさしく語りかけていても、そこに無機質な感じも乗せて欲しいし、でも温もりも欲しいとリクエストされたので、難しく選ばれるか心配でしたが、結果レイシア役をいただけてとても嬉しかったです。レイシアは凄く優秀な hIE で、可愛らしい一面がある一方でビジネスライクな話し方になったりと、シーン毎に雰囲気が変わるため、色々な表情を見ていただけるように気をつけて演じています。」と『BEATLESS』について語りました。また、アナログハックについては「アナログハックという言葉は、『BEATLESS』原作者の長谷先生が考えた言葉ですが、以前からあったことのように感じてしまうくらい、身近な概念なんだなと思っています。hIE がロボットの形ではなく、生身の人間のような姿形をしているのも、アナログハックの作用をうまく引き出すためです。“目的をもって人に働きかけること”がアナログハックなので、相手がロボットに関わらず、人と人でもおこりうるわけですね。私たちも、知らず知らずのうちに、引っ掛かかっていたりするものかなと思っています。アナログハック自体が善とか悪ということではなく、アナログハックを悪意をもって使うことが危険なので、『面白そう』『かわいい』と思ってうっかりクリックしてしまわないように、危機感は常に持っていたいですね。」とコメントし、会場のイベント参加者のみなさんも興味深げに話を聞いていました。

サイバーセキュリティ月間コラボポスター争奪ジャンケン大会！

トークセッションに続いて行われたのは、東山さんのサイン入り「サイバーセキュリティ月間コラボポスター」が当たる、争奪ジャンケン大会。東山さんが「わたしはグーを出しますよ！」と参加者に念を押しジャンケンを行うと、大半の参加者がパーを出しました。チョキを出した東山さんは「皆さん見事にアナログハックされましたね！心のセキュリティに気をつけて！」と会場の笑いを誘いました。その後、ステージ観覧者の方々とでジャンケンをすること3回。勝ち残った9名のお客様がステージ前に集まり、その中で更に勝ち残った3名が見事サイン入りポスターを獲得しました。ポスターを獲得した方は東山さんから直接ポスターを受け取り、「嬉しいです。心臓が飛び出そうです。」と喜びを語っていました。

最後に、東山さんより会場のみなさんへ、「私も今日朝から、アナログハックについて改めて考えました。自分の身のためにもなるし、楽しくてとても素敵な時間を過ごさせていただきました。」とのメッセージをいただき、オープニングプログラムは終了しました。

本イベントでは、オープニングプログラムに続き、「サイバー小説コンテスト トークステージ」や、『BEATLESS』原作者の長谷敏司氏と同 TV アニメプロデューサーの田村淳一郎さんをゲストに迎えた「近未来サイバーセキュリティトークステージ」、また、遠藤ユカ役の声優・小野早稀さんを被害者役とした、サイバー攻撃の実演イベントなどが行われ、訪れた方々にサイバーセキュリティの重要性を訴えました。



実施概要

- 名 称:「アナログハックを目撃せよ! 2018」
- 開催日: 2018年3月4日(日)
 - メディア、一般来場者向けオープニングプログラム : 11:30~12:30
 - 一般来場者向けイベント : 13:00~17:00
- 会 場: アキバ・スクエア (東京都千代田区外神田 4-14-1 秋葉原 UDX 2F)

参考 サイバーセキュリティ月間とは

政府では、重点的かつ効果的にサイバーセキュリティに対する取組を推進するため、毎年2月1日から3月18日までの期間を「サイバーセキュリティ月間」と定め、政府機関はもとより、各種啓発主体と連携し、サイバーセキュリティに関する普及啓発活動を集中的に実施します。また、国民に親しみやすいメディアであるアニメ・コミック等の影響力に注目し、2016年よりアニメコンテンツとのタイアップを行っています。

その中で本年度、内閣サイバーセキュリティセンター(NISC)は、サイバーセキュリティでしばしば取り上げられるソーシャルエンジニアリングに近い概念を持つ「アナログハック」を一つのテーマとした作品、『BEATLESS』に注目し、BEATLESS 製作委員会とタイアップを行うことで合意致しました。

2月1日から3月18日までの期間中、国内各所でのポスター掲示や本イベントなど、様々な普及啓発活動を実施します。